

- 1 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？
① 祭り ② 戦い ③ 狩り ④ 交易
- 2 弥生時代に北部九州を中心に多く出土している、中国から輸入された鏡を何という？
① 三角縁神獣鏡 ② 銅鐸 ③ 漢鏡 ④ 小形仿製鏡
- 3 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？
① 前漢 ② 西晋 ③ 魏 ④ 後漢
- 4 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？
① 掘立柱 ② ネズミ返し ③ 高床 ④ 茅葺き
- 5 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
① 菜畑遺跡 ② 唐古・鍵遺跡 ③ 吉野ヶ里遺跡 ④ 登呂遺跡
- 6 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？
① 鉄器 ② 石器 ③ 青銅器 ④ 土器
- 7 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？
① 銅矛 ② 鏡 ③ 銅剣 ④ 銅鐸
- 8 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
① 日本書紀 ② 魏志倭人伝 ③ 風土記 ④ 古事記
- 9 縄文土器にくらべて薄手でかたく、赤みを帯びた、弥生時代の土器を何という？
① 須恵器 ② 縄文土器 ③ 土師器 ④ 弥生土器
- 10 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？
① 隋 ② 魏 ③ 後漢 ④ 前漢
- 11 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？
① 武帝 ② 光武帝 ③ 始皇帝 ④ 玄宗
- 12 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王に贈られたことを示す重要な遺物を何という？
① 金印 ② 銅鏡 ③ 銅矛 ④ 銅鐸
- 13 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？
① 木器 ② 石器 ③ 土器 ④ 金属器
- 14 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？
① 銅剣 ② 銅鐸 ③ 鏡 ④ 銅矛
- 15 1世紀、後漢の時代に倭の奴国の王が使節を送った際に、その権威を認めて印を授けた皇帝を何という？
① 光武帝 ② 玄宗 ③ 始皇帝 ④ 武帝



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る 答え	言えた
1	銅鐸は、このような <u>祭り</u> の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。	1 <u>祭り</u>	☐
2	<u>漢鏡</u> は、中国の漢王朝で鑄造された銅鏡で、高い鑄造技術による精巧な文様が特徴です。	3 <u>漢鏡</u>	☐
3	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、 <u>後漢</u> の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。	4 <u>後漢</u>	☐
4	柱の途中に板状の出っ張り（ <u>ネズミ返し</u> ）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。	2 <u>ネズミ返し</u>	☐
5	<u>吉野ヶ里遺跡</u> は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。	3 <u>吉野ヶ里遺跡</u>	☐
6	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。	1 <u>鉄器</u>	☐
7	<u>銅鐸</u> は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。	4 <u>銅鐸</u>	☐
8	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 <u>魏志倭人伝</u> 』と呼ばれます。	2 <u>魏志倭人伝</u>	☐
9		4 <u>弥生土器</u>	☐
10	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である <u>後漢</u> の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。	3 <u>後漢</u>	☐
11	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である <u>光武帝</u> は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。	2 <u>光武帝</u>	☐
12	1784年、福岡県の志賀島で農夫によって発見されました。	1 <u>金印</u>	☐
13	<u>金属器</u> には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。	4 <u>金属器</u>	☐
14	<u>銅鐸</u> は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。	2 <u>銅鐸</u>	☐
15	『後漢書』東夷伝によれば、57年に倭の奴国の使者が後漢の <u>光武帝</u> に謁見し、朝貢しました。	1 <u>光武帝</u>	☐

言えなかった用語ノート